

会社名 ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 石井 茂  
 (コード番号：8729 東証第一部)

**2020年3月期 決算速報ならびに  
 2021年3月期 業績予想および配当予想に関するお知らせ**

当社の親会社であるソニー株式会社は、本日、米国会計原則に基づく2019年度(2019年4月1日～2020年3月31日)の連結決算発表を行う予定ですが、その中で当社グループについて、ソニーグループの金融分野として米国会計原則に基づく財務情報が開示される予定です。

当社および当社グループの日本会計基準に基づく決算手続きは未だ完了しておりませんが、当社株主をはじめ投資家の皆様に対して適時・適切な情報開示を積極的に行うため、日本会計基準に基づく当社の2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の決算速報をお知らせいたします。

また、2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の業績予想および配当予想についても、あわせてお知らせいたします。

なお、当社の2020年3月期の決算発表は2020年5月19日を予定しています。

## 1. 2020年3月期 決算速報

### (1) 2020年3月期 連結累計期間 決算速報値

	2019年3月期(実績) (2018年4月1日 ～2019年3月31日)	2020年3月期(前回予想) (2019年4月1日 ～2020年3月31日)	2020年3月期(速報) (2019年4月1日 ～2020年3月31日)
経常収益	1兆6,291億円	1兆8,600億円	1兆7,814億円
経常利益	938億円	1,030億円	1,118億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	620億円	680億円	744億円
1株当たり 当期純利益	142.69円	156.31円	171.09円
1株当たり 配当金	62.5円	70.0円	70.0円

【参考】2020年3月期末：自己資本\* 6,895億円、総資産 15兆1,257億円

※ 自己資本は、純資産合計額から、新株予約権および非支配株主持分を控除した金額を表示しています。

(注) 経常収益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益の各欄に記載の金額は、億円単位未満を切り捨てて表示しています。

(2) 連結業績変動の主たる要因

2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の経常収益は、生命保険事業、損害保険事業および銀行事業のすべての事業において増加した結果、1兆7,814億円（前年度比9.3%増）となりました。経常利益も、上記すべての事業で増加した結果、1,118億円（前年度比19.2%増）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、経常利益が増加したことにより、744億円（前年度比19.9%増）となりました。

事業別の経常収益および経常利益の速報値は、次のとおりです。

	2019年3月期（実績） （2018年4月1日～2019年3月31日）	2020年3月期（速報） （2019年4月1日～2020年3月31日）
経常収益	1兆6,291億円	1兆7,814億円
生命保険事業	1兆4,643億円	1兆6,047億円
損害保険事業	1,151億円	1,217億円
銀行事業	460億円	502億円
経常利益	938億円	1,118億円
生命保険事業	782億円	943億円
損害保険事業	68億円	80億円
銀行事業	95億円	106億円

生命保険事業：経常収益は、一時払保険を主とする保険料等収入の増加などにより、1兆6,047億円（前年度比9.6%増）となりました。経常利益は、事業費が増加したものの、新契約獲得にかかる費用の減少および保有契約高の拡大による利益の増加などにより、943億円（前年度比20.7%増）となりました。

損害保険事業：経常収益は、主力の自動車保険で正味収入保険料が増加したことなどにより、1,217億円（前年度比5.8%増）となりました。経常利益は、前年度に一部の商品で積み増した責任準備金の一部を取崩したことや、異常危険準備金の取崩しなどにより、80億円（前年度比17.0%増）となりました。

銀行事業：住宅ローンの実行増加にともなう貸出金利息などの増加により、経常収益は502億円（前年度比9.2%増）、経常利益は106億円（前年度比11.4%増）となりました。

なお、当社は本日、「【参考開示】米国会計原則に基づく主要業績数値」を当社ホームページに公表しておりますので、あわせてご覧ください。

当社ホームページ URL：[https://www.sonyfh.co.jp/ja/financial\\_info/results/sfh\\_fy2019\\_4q\\_02.pdf](https://www.sonyfh.co.jp/ja/financial_info/results/sfh_fy2019_4q_02.pdf)

## 2. 2021年3月期 連結業績予想および配当予想

2021年3月期 連結業績予想および配当予想につきましては、現時点で新型コロナウイルス感染症の収束時期や営業活動の回復速度等を見通すことが困難であり、業績に与える影響に未確定要素が多いことから、合理的な算定が困難と判断し、未定といたします。今後、合理的な算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

なお、新型コロナウイルスの感染症拡大にともない、当社グループでは、お客さまや取引先、従業員の健康・安全のため、原則として対面での手続きは自粛し、テレワークの実施など感染抑止策を実施しています。

業容の大宗を占めるソニー生命保険株式会社（以下、「ソニー生命」）においても、対面でのライフプランナーによる営業活動を停止しており、このような状況が長期化すれば、新規契約の減少や対策費用の増加など、ソニー生命の収益に大きな影響を及ぼす可能性があります。

今後、ソニー生命では、移動制限の緩和や経済活動の再開の状況を勘案しながら、対面での営業活動を順次再開していくことに加え、電話やビデオによるコンサルティングツールの活用を段階的に増やすなど、対応を強化していく予定です。

上記の2020年3月期決算速報に記載されている情報は、本資料発表日現在において入手可能な情報を元に作成した速報値であり、確定値ではありません。2020年5月19日に発表を予定しております2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の決算数値は、様々な要因により、本速報値と大きく異なる可能性があります。

当社の連結業績<sup>\*</sup>は、日本の会計基準に準拠して作成しており、その会計基準は、当社の親会社であるソニー株式会社が開示する連結業績の準拠する米国の会計原則とは異なります。

※ 当社の連結業績に含まれる対象会社は以下のとおりです。

連 結 : ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社  
ソニー生命保険株式会社  
ソニーライフ・ウィズ生命保険株式会社<sup>\*2</sup>  
SA Reinsurance Ltd. <sup>\*2</sup>  
ソニー損害保険株式会社  
ソニー銀行株式会社  
ソニーペイメントサービス株式会社  
SmartLink Network Hong Kong Limited  
SmartLink Network Europe B.V. <sup>\*1</sup>  
ソニー・ライフケア株式会社  
ライフケアデザイン株式会社  
プラウドライフ株式会社  
ソニーフィナンシャルベンチャーズ株式会社<sup>\*1</sup>  
SFV・GB投資事業有限責任組合<sup>\*1</sup>

<sup>\*1</sup> ソニーフィナンシャルベンチャーズ株式会社が2019年3月期第2四半期連結会計期間より、SFV・GB投資事業有限責任組合が2019年3月期第4四半期連結会計期間より、SmartLink Network Europe B.V.が2020年3月期第2四半期連結会計期間より、ソニーライフ・ウィズ生命保険株式会社およびSA Reinsurance Ltd.が2020年3月期第4四半期連結会計期間より、それぞれ新たに連結範囲に含まれております。

<sup>\*2</sup> 2020年1月29日、ソニー生命保険株式会社がソニーライフ・エイゴン生命保険株式会社およびSA Reinsurance Ltd.の株式を取得し、両社は当社およびソニー生命保険株式会社の完全子会社となりました。なお、2020年4月1日、ソニーライフ・エイゴン生命保険株式会社はソニーライフ・ウィズ生命保険株式会社に商号変更いたしました。

また、ソニー株式会社は2020年5月13日に2019年度（2019年4月1日～2020年3月31日）の業績を発表する予定です。

#### 注意事項

本資料に記載されている、当社グループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、過去の事実でないものは、将来の業績に関する見通しや試算です。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「想定」、「予測」、「予想」、「目的」、「意図」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されません。口頭または書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。これらの見通しまたは試算に関する情報は、現在入手可能な情報から得られた当社グループの経営者の仮定、決定ならびに判断に基づいています。実際の業績は、多くの重要なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しの上に全面的に依拠することは控えるようお願いします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、当社グループが将来の見通しや試算を見直して改訂するとは限りません。当社グループはそのような義務を負いません。また、本資料は日本国内外を問わずいかなる投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものでもありません。

以上

---

(お問い合わせ先)

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社 IR 部

電話 (03) 5290-6500 (代表)

E-mail : [press@sonyfh.co.jp](mailto:press@sonyfh.co.jp)

(ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社のホームページ)

<https://www.sonyfh.co.jp/>